

概要

summary

PC栈橋は、工場製作のプレキャストPC桁を並列架設後、桁間にコンクリートを打設して桁直角方向にもプレストレスを導入する上部工、杭と受梁からなる下部工で構成されます。両者の接合は、受梁とプレキャスト桁を連結部で一体化したラーメン構造が多く用いられています。



特長

構造特性

プレキャストPC桁は、桁直角方向もプレストレスにより一体化されるため、床版として連続性に優れた構造となります。また、プレキャストPC桁は受梁を介して杭と連結したラーメン構造とすることで、杭頭の変位を制御でき、耐震性に優れた構造となります。

施工性

プレキャストPC桁を使用するので、海上での施工が大幅に短縮できます。桁間は、埋設型枠を使用しますので、横組用足場が不要であり、潮の干満の影響を受けずに施工できます。

経済性

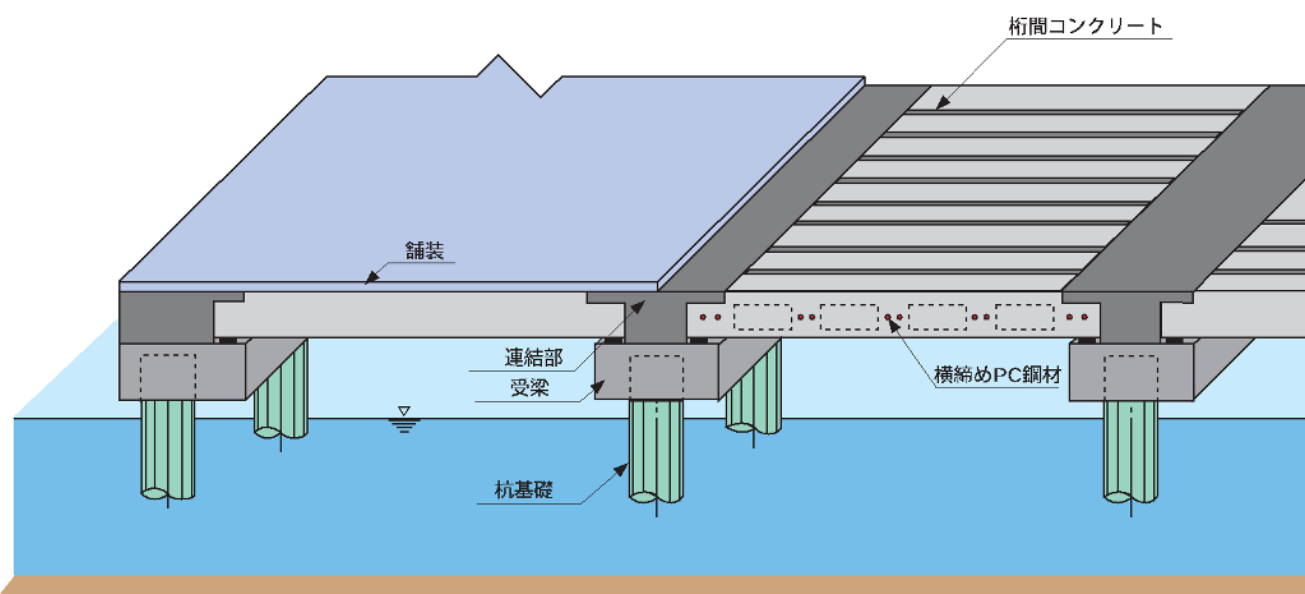
PC桁の使用により、上部工の軽量化、スパンの増大が可能となります。その結果、杭本数を減らすことができ、全体コストの低減が可能となります。

耐久性

プレキャストPC桁は、ひび割れを発生させない構造とするだけでなく、高品質のコンクリートを用いて大きなかぶりを確保することにより、鋼材の腐食因子となる塩化物イオンの浸透性遮断効果が高まり、耐久性に優れた構造となります。

一般形状

general view



● 施工 execution

PC栈橋の標準的な施工手順は以下のとおりです。

